



令和7年度 第1回 静岡県スタートアップ 支援戦略委員会 資料

2025.10.15

静岡県経済産業部

産業イノベーション推進課

1

静岡県スタートアップ支援戦略2025の概要

01 静岡県のスタートアップの現状（全国）

国内のスタートアップは東京に集中

	1位	2位	3位	4位	5位	…	9位	計
都道府県	東京	大阪	神奈川	京都	愛知・福岡		静岡	—
所 在 数	8,135	614	564	351	344		180	12,745
比 率	64.0%	4.8%	4.4%	2.8%	2.7%		1.4%	100%

出典：スピーダ 2024.12月時点（単位：社）

県内のスタートアップは西部地域に偏在

	伊豆・東部	中 部	西 部	計
所 在 数	23	49	108	180
比 率	12.8%	27.2%	60.0%	100%

出典：スピーダ 2024.12月時点（単位：社）

戦略の柱「創出」「育成」「連携」に「誘致」を追加し、
新たな施策で支援策を加速化



04

静岡県スタートアップ支援戦略2025の概要 ②

戦略のK P I / 目標値	現状値 (2024年度)	2025年度	2026年度	2027年度	目標値 (2028年度)
① 県内スタートアップ数 (本社)	180社	200社 (+20)	220社 (+20)	240社 (+20)	260社 (+20)
①-2 県事業により 県内拠点を設けた スタートアップ数	0社	15社 (+15)	30社 (+15)	45社 (+15)	60社 (+15)
② 資金調達総額	196億円	218億円 (+22)	240億円 (+22)	262億円 (+22)	284億円 (+22)
③ 評価額100億円以上 のスタートアップ	0社	—	—	—	3社

「資金調達支援」と4つの柱の連携を図り、
スタートアップの支援や誘致を強力に推進

資金調達支援 （ベンチャーキャピタルと連携した資金面からの支援）



4つの戦略の柱

創出
（種まき）

県内企業・自治体とのマッチング

連携
（サポート）

各地域におけるコミュニティ形成支援

育成
（成長支援）

実証実験への支援、起業家教育

誘致
（呼び込み）

東部・伊豆地域等への呼び込み

2

令和7年度（2025年度）事業の進捗状況

創出
(種まき)

新ビジネスの需要創出、初期顧客の創出

TECH BEAT Shizuoka

拡充

パブリックピッチ

拡充

県による優先調達

新規

**連携**
(サポート)

コミュニティの形成、ネットワーク構築

ふじのくに“SEAs”

拡充

SHIPワンストップ相談窓口

SUコミュニティ形成支援

新規

**資金調達支援**

ベンチャーキャピタルと連携した資金調達支援

新規

育成
(成長支援)実証フィールドの提供
スタートアップの発掘・育成

実証実験サポート事業

新規

ファンドサポート採択SUに対する支援

新規

ネクストイノベーター創出プロジェクト“FuJI”

大学発ベンチャーの発掘・育成

インキュベートセンターの管理運営

誘致
(呼び込み)首都圏と県内の橋渡し
東部・伊豆地域への呼び込み

首都圏共創拠点の設置・運営

Shizuoka Startup Dayの開催

新規

東部・伊豆への拠点創出

新規

海外スタートアップの誘致

新規



対象者要件	県内に本社又は主たる事業所を置く中小事業者（登記必要） ※ シード枠：創業から5年以内で研究開発を実施
対象事業要件	県内で実施する事業
交付率	【シード枠】全体事業費の2／3 （認定VCから受ける投資額の2倍以内） 【一般枠】全体事業費の1／2 （認定VCから受ける投資額と同額以内）
交付上限額	【シード枠】1千万円 【一般枠】4千万円 ※ 各枠の交付は1回限り
採択後のSU支援	成長支援：専門家アドバイス、マッチング支援、事業展開支援 等 財務管理体制強化：適時の経理指導、定期的な検査 等

【進捗状況】





スタートアップと県内企業とのマッチング
新たなビジネスの需要創出と県内企業の課題解決



イベントの規模の拡大と質の充実

	来場者数	商談件数	出展 スタートアップ	顧客 満足度
2024 実績	7,622名+	431件 (目標420件)	139社 (うち新規40%)	77.6% (目標75%)
	↓	↓	↓	↓
2025 目標	10,000名+	500件	170社 (うち新規30%)	80%

10【創出】TECH BEAT Shizuoka

拡充

R7当初:3,500万円

【開催実績】

2025.7.24(木) - 26(土) グランシップ

来場者数

10,125人

商談数

73件
(当日終了時点)

出展
スタートアップ

178社

協賛企業

108社

来場者
満足度

78.1%



静岡県 静岡銀行

TECH BEAT Shizuoka 2025

国内外
スタートアップ
170社
出展予定

START with PASSION.

オープンイノベーションの頂きへ。

7.24 10:00 17:00 25 10:00 17:00 26 10:00 17:00
| 会場 | グランシップ |

ご来場登録
受付中!

時代を先駆けるスタートアップとの出会いと
共創がSHIZUOKAの未来を加速する。

全国から新しい挑戦を志すオープンイノベーションの旗本「TECH BEAT Shizuoka」。国内外の注目スタートアップたちが
今年もグランシップに集結。ビジネスマッチングをはじめ豪華登壇者たちによるキーノートやセッションなど、チャンスと
刺激が盛りだくさんの3日間です。
さらに、静岡県内企業の未来に向けた取組展示、若き挑戦者向けのプログラム、子どものための体験型デジタルアトラク
ションなどのサテライトコンテンツも充実。静岡の未来が鼓動するイノベーションの最前線へ、あなたも！





昨年度西部(8市1町)で開催した
パブリックピッチを今年度は県全域
(中部・東部・伊豆)で開催
県内市町の地域課題とスタートアップを
マッチング



開催概要

【開催日時・会場】

伊豆地域：10月 8日(水) 熱海後楽園ホテル

東部地域：10月20日(月) ホテルグランド富士

中部地域：11月10日(月) 島田市地域交流センター歩歩路

【登壇者】

県内外のスタートアップ(各5社程度)

【聴講者】

県内市町の首長、副首長、幹部職員 等

【進捗状況（各市町提案課題）】

伊豆地域

- 伝統農法と先端技術の融合で拓く、伊豆市「わさびの郷」の未来(伊豆市)
- 災害時「孤立集落ゼロ」への挑戦(東伊豆町)
- リノベーションによる「市民と観光客が行き交う商店街」へ(伊東市)
- 「二次交通の壁」を壊し、もっと周遊したくなる伊東へ(伊東市)
- データで拓く、伊豆市観光の新たな未来(伊豆市)

東部地域

- 「紙のまち」から「新素材のまち」へ。
富士市CNF関連産業の共創促進(富士市)
- 「ウェルネス」をまちの魅力へ。市民と来訪者の「心と体の健康」を共創(富士宮市)
- 市民の健康を未来へつなぐヘルスケア事業の新提案(沼津市)
- オール三島の持続可能な観光地域づくり(三島市)
- 年間1,500万人の交流人口を「地域のファン」に(御殿場市)
- 「通過されるまち」から「滞在して楽しむ町」へ。
小山町の観光資源をつないでいく。(小山町)
ほか

中部地域

- 焼津市の二地域居住への挑戦(焼津市)
- 「暮らしたくなる」を藤枝で移住から定着までの未来デザイン(藤枝市)
- 「また来たくなる」をつくる、島田の観光リ・デザイン(島田市)
- 「作れば売れる」から「選ばれる農業」へ。牧之原市の農産物の価値を最大化(牧之原市)
- 県内No.1の外国人比率を、町の力に。吉田町の「多文化共生」を加速し国際都市に。(吉田町)
- 最高級の品質を、新たな価値へ。
川根茶の流通販売を拓く。(川根本町)

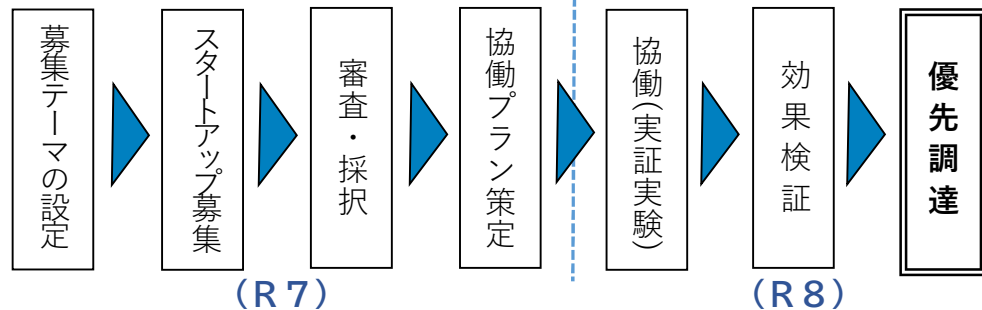


【東京都の事例】 農業 × 遠隔ロボット

まちづくり × XR

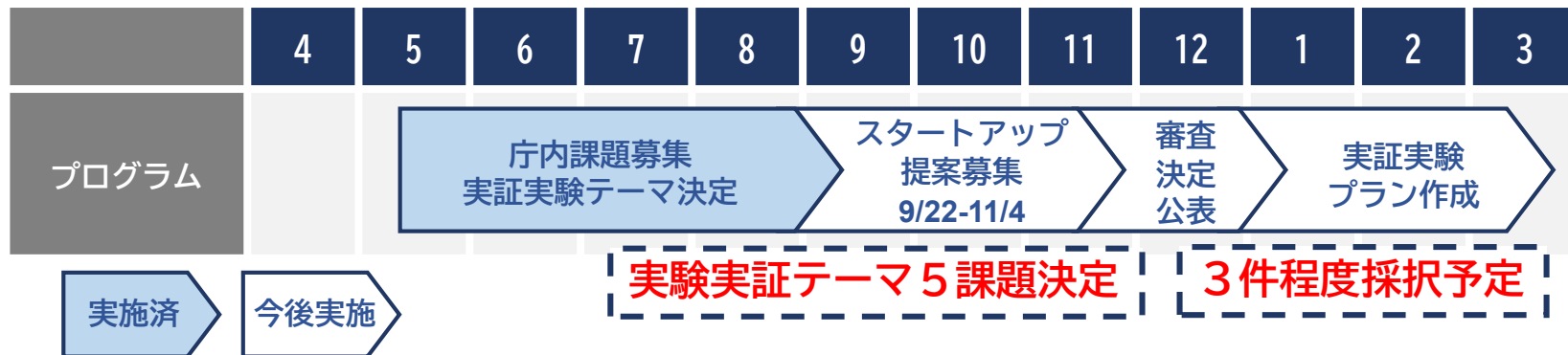


事業フロー



県庁の各部局からテーマを募集し、行政課題の解決につながるプロダクトを有するスタートアップと実証実験を実施
効果があれば県が率先して導入（優先調達）

【進捗状況】



【実証実験テーマ】

地域 交通課	顔認証技術を活用したバス乗降データ収集 (利用実態の把握、効果的な公共交通施策の立案)	生活 環境課	浄化槽の維持管理状況のデータ・システム化 (保守、点検業務の効率化、事務負担の軽減)
広聴 広報課	誰もが対応しやすい窓口業務の構築 (問い合わせ内容の可視化、迅速・適切な担当課案内等)	税務課	自動車税身障減免申請のユニバーサル化 (利便性向上、事務の効率化、電子申請の利用率向上等)
介護 保険課	ケアマネジャーの資格更新のスムーズ化 (更新事務の効率化、利便性の向上 等)		



静岡県をフィールドに実証実験を行う

スタートアップを支援

スタートアップの成長を後押しするとともに、
地域課題の解決につなげる



【支援内容】

実証実験に必要な経費の助成（10件程度）

補助率1/2、上限200万円

実証フィールドの斡旋、各種調整、PR支援 等

本県の主な地域資源（実証フィールド）

- 次世代産業関連プロジェクトにおける取組
（ファルマ、フーズ、A0I、Ma0I、フoton、CNF 等）
- 豊富な自然・観光資源（温泉、富士山、駿河湾、浜名湖 等）
- 盛んな一次産業（農業、林業、水産業）
- 集積する製造業（自動車産業、医療機器、楽器 等）

【進捗状況】





次代の起業家を育成するため、県内の高校生を対象に7ヵ月間の起業体感プログラムを実施
起業に向けたマインドセットの醸成や必要な知識の取得等を図る



プログラム概要

対 象：高校生（県内在住又は県内高校に通学）

参加数：20名程度

内 容：① スタートアップキャンプ（夏休み）
マインド醸成（起業家による講演等）

基礎スキル取得（個別相談等）

仲間とのネットワーク形成

② スタートアップツアー（冬）

先端施設等の見学、起業家による講演
成果発表（中間）

③ 講義、伴走支援（随時）

トップ起業家等による講義

事業アイデア相談、フォローアップ ほか

【進捗状況】



【スタートアップキャンプ（8/19～8/22）の様子】





県内のスタートアップ支援に係る様々な
プレイヤーが繋がるネットワーク
産学官金が一体となってスタートアップの
支援機運を醸成



ふじのくに “SEAs” 概要

会 員 : 130社・団体 (2025年9月末時点)

[産] 県内企業、産業支援機関 [学] 県内大学、高校

[官] 県内市町、外郭団体 [金] 銀行、信金、VC 等

主な活動 : ①スタートアップと支援者(会員)のマッチング

②地域会・全体会の開催

③パートナー拠点会議の開催

④ニュースレターの配信、情報収集、情報発信 ほか

【開催実績】

中部地域会

2025.8.20(水)



【内容】

基調講演：(株)ストライク 荒井邦彦 氏
スタートアップピッチ、交流会

参加者：約98名

全体会（東部）

2025.10.9(木)



【内容】

基調講演：ヤマハ発動機(株) 青田 元 氏
スタートアップピッチ、トークセッション
交流会

参加者：116名

西部地域会

2025.2.19(木)

(企画中)



起業等に挑戦したい学生たちのコミュニティ
SHIPを主な会場に毎月イベントを開催
するとともにオンライン上でコミュニティ
活動を展開



CREWS概要

会 員 : 42人 (うち高校生10人) (2025年9月末時点)

主な活動 : ①オンラインコミュニティへの参加

②イベントへの参加

・ SHIP-CREWS DAY (毎月開催)

・ ニチクル DAY (随時開催)

③自主企画イベントの開催 ほか

【イベント開催実績】

第1回 2025.5.30



第2回 2025.6.17



第3回 2025.7.22



第4回 2025.8.28



第5回 2025.9.8





SHIPにスタートアップからの様々な
相談に対応する相談窓口を設置
スタートアップの活動をワンストップで支援



SHIPワンストップ相談窓口概要

設置場所：県イノベーション拠点 SHIP（静岡市葵区呉服町）

相談体制：スタートアップ相談員3名を配置

※ 受付時間：平日12時～20時

相談事例：事業計画ブラッシュアップ

投資家へのアプローチ方法助言

協業先や専門家の紹介 ほか

【支援実績】

累計相談件数 **488**件、スタートアップ訪問件数 **59**社（2025年8月末時点）

<主な支援事例>

株式会社ストラウト

WAVES入賞に貢献

相談員が継続的にアドバイス提供、準備サポートを行い、3位入賞を達成



株式会社斉藤鐵工所

アトツギ甲子園決勝進出に貢献

書類審対策やプレゼン準備サポートを行い、アトツギ甲子園決勝に進出



株式会社トヨコー

技術見学会を通じて成長に貢献

技術見学ツアーを企画し、ネットワーキングを支援。2025年3月に東証グロース市場上場





県職員2名がC I C T o k y oに駐在し、
首都圏等のスタートアップと県内企業・
自治体等とのマッチングや誘致を推進



C I C T o k y o概要

【所在地】

東京都港区

虎ノ門ヒルズビジネスタワー

- ・世界8都市に展開する都心型の大型イノベーションセンター
- ・約350の企業・団体が入居。うち半数がスタートアップ（他は大企業やVC、海外政府出先機関、自治体等）
- ・ピッチイベントやセミナー等のイベントを数多く開催

【活動実績】

東京→静岡

- ・AOIフォーラム入会：3社
- ・TECH BEAT Shizuoka 2025：出展12社
- ・県企業局：2社
- ・県東京事務所企業誘致班：1社
- ・静岡ウェルネス・フーズEXPO出展：1社
- ・県ファンドサポート事業へVC紹介3社
- ・その他、民間企業とのマッチング多数

静岡→東京

- ・CIC Tokyoでのマッチング機会提供
→例) 株式会社ソーイの都内展開を支援
- ・都内VC・CVC・事業会社に対する
ピッチ機会の提供





本県の次世代産業関連プロジェクトや施策等を
首都圏において大々的にPR
スタートアップとのマッチングや誘致を促進

イメージ(セミナー/個別面談)

イベントの概要

開催時期：2025年12月22日

場 所：TIB (Tokyo Innovation Base)

内 容：① 県のスタートアップ関連施策の紹介
② 次世代産業関連プロジェクト関係の紹介
・各プロジェクトの紹介
・各PJ・市町からのリバースピッチ
・首都圏スタートアップからのピッチ

【主な次世代産業関連プロジェクト】

AOI	先端農業
MaOI	海洋先端産業
ChaoI	茶業
ファルマバレー	医療・福祉機器
フotonバレー	光関連技術
CNF	セルロースナノファイバー
ウェルネス	食品・ウェルネス産業



温泉旅館を活用したスタートアップ拠点の事例

<和多屋別荘（佐賀県嬉野市）>

地域資源を最大限に活用し、スタートアップが
集う拠点の創設と実証フィールドの提供により、
東部・伊豆地域への誘致を推進

温泉を活用した拠点の創設

地域課題解決とICOIプロジェクトの発展を促進
するため、新たに温泉旅館オフィス事業を展開

<2024年度>

- ・地域資源活用アドバイザー委嘱
(嬉野温泉 和多屋別荘：小原氏)

- ・課題整理、可能性調査の実施

⇒ 今後の事業展開の核となる事業者を発掘

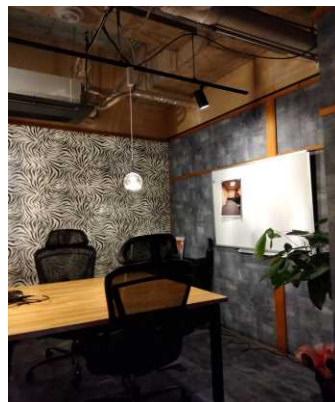
<2025年度>

- ・伊豆の温泉旅館を活用したオフィス化モデルの構築実証

⇒ オフィス化計画の立案や、入居企業の募集等を支援
スタートアップの入居促進 等



温泉旅館オフィス化に取り組む4旅館



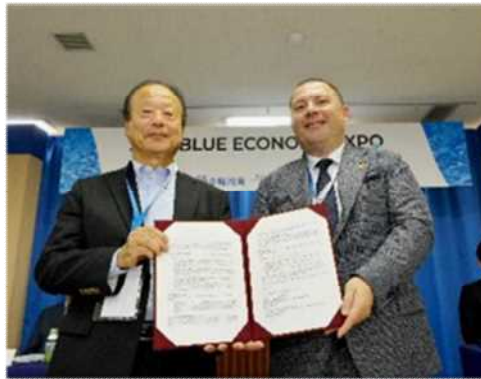
温泉旅館オフィス
入居第1号の企業のオフィス
(伊豆の国市：香湯楼井川)



入居第1号の企業と地元自治体
との協定締結式
(伊豆の国市：香湯楼井川)

【支援実績】

- 伊豆地域で温泉旅館オフィス化に取り組むモデル4旅館を選定、伴走支援開始【2025年5月】
- モデル旅館へ入居第1号の企業がオフィスを設置【2025年7月】
- モデル旅館への入居企業のマッチング、視察対応を実施【2025年8月～】



海外の大学やスタートアップ支援機関等と連携を図り、海外スタートアップを積極的に誘致

左：グジャラート大学MOU締結

右：ブルーテッククラスターアライアンス加盟

【活動実績】

- インド グジャラート大学と覚書締結（スタートアップ支援の連携・協力）【2024年12月】
- ブルーテッククラスターアライアンス（世界的な海洋産業クラスターの連携組織）へのMaOI機構の加盟（駿河湾を有する静岡に海外スタートアップ・投資家を呼び込み）【2024年9月】
- 中国 浙江大学、静岡大学、静岡県立大学、静岡県の4者による覚書締結（大学発スタートアップ支援の連携・協力）【2025年6月】
- TECH BEAT Shizuoka 2025にインド（グジャラート州）、中国(浙江大学等)、台湾、韓国、のスタートアップが出展【2025年7月】

トップレベルから次世代人材まで4つの階層ごとに
デジタル人材の確保・育成施策を展開

トップ
レベル

中核的人材

全ての
ビジネスパーソン

次世代人材
(小中高校生等)

これまでの取組内容

- TECH BEAT Shizuokaの開催
- イノベーション拠点(SHIP)
- ICT関連企業の誘致
- 先端デジタル技術習得を図る講座（静大、高専連携講座）
- AI・IoT導入推進コンソーシアム
- 工技研AI・IoT推進ラボ
- デジタルリテラシー向上を図る講座（県立大学連携講座）
- AI利活用セミナー
- 県立工科短期大学校における在職者・離転職者訓練
- 小中高校生を対象としたプログラミングコンテスト等
- 県立工科短期大学校による若年者訓練



3

令和8年度（2026年度）事業の実施方針(案)

「スタートアップ支援戦略2025」に基づき
スタートアップのニーズの高い支援施策を実施



次のステップとしてスタートアップ支援の効果を
県内産業界・自治体等に波及させる必要



AI・生成AIの急速な進展
我が国は諸外国に比べ導入に遅れ



県内企業の
AI技術等の導入・利用拡大を進める必要



「スタートアップ支援+県内への波及」と「AI技術等の利活用拡大」の
2つの柱で県内産業のイノベーション創出に向けた施策を展開

スタートアップ支援

+

県内への波及

<創出>

- ・県庁各部局によるスタートアップのソリューションの導入に向けた実証実験の実施（公共調達）

<育成>

- ・地域パートナーと連携した実証実験サポート

<連携>

- ・SHIP・SEAsを核とした地域コミュニティの活性化
- ・スタートアップエコシステム拠点都市（Central Japan Consortium）との連携によるグローバル展開支援

<誘致>

- ・首都圏共創拠点（CIC Tokyo）の活用
- ・静岡県ファンドサポート事業による資金調達支援

- ・TECH BEAT Shizuoka 2026 におけるAIソリューションの充実

- ・県職員とSHIPによる県内中小企業のニーズの掘り起こしとマッチング【拡充】

- ・スタートアップ等と連携した県内企業へのAI導入促進【新規】